

有機農業の現状と課題

～あいら有機部会の取組みと事例紹介～



自己紹介（プロフィール）



氏 名： 今村 君雄（いまむら きみお）

肩書き： あいら有機部会 会長

農業歴： 40年

出身地： 始良市船津地区

夫婦で有機農業に携わりながら、あいら有機部会の会長として地域や行政、農協を巻き込み、有機農業を推進してきた。



手探りで始めた有機農業

夫婦で始めた有機農業

当時の世の中は、農薬や化学肥料を使うのが当たり前で、便利さと大量生産に突っ走っていた時代だった。

北海道の酪農学園で共に学んだ妻と二人で、農家として選択する人が少なかった“有機農業の道”を歩み始めた。



手探りで始めた有機農業

仲間との出会いと別れ

有機農業を始めて約40年、当時は、少なかった仲間も徐々に増え、有機農業の輪も広がりつつある。

しかし、“草との戦い”とも称される有機農業。膨大な手作業に直面し、ただの憧れだけでは、成就できないこの世界の厳しい現実から、去ってしまう仲間も少なくなかった。



あいら有機部会の基本理念

安心・安全な農産物の生産と
消費者との“つながり”を大切にした交流活動

★消費者との交流

- ・販売会での対話

★農業体験

- ・稲刈体験
- ・収穫体験

★有機農業の情報発信

- ・学校給食での食育推進



あいら有機部会の活動紹介①

さまざまな販売会に参加し、
生産者として、消費者に直接“手売り”する！



○あいら新鮮朝市（特産品協会や漁業組合と合同開催）



あいら有機部会の活動紹介②

畑や田んぼで体験型のイベントを企画し、
農業体験を通じた生産者と消費者の交流を実現



○タマネギ収穫体験



○稲刈・掛干し体験



あいら有機部会の活動紹介③

授業と学校給食の時間に参加し、
有機農業のことを伝え、一緒においしく食す！



○始良小学校（3年生の授業で生産者3名が有機農業を語る）



今後の展望や期待すること

始良の有機農業を日本一にする！

始良の農業全体をけん引する存在になりたい！

★生産者への期待

- ・若手農家の取組み

★行政への期待

- ・有機農地を100万h a
- ・オーガニックビレッジ

★社会全体への期待

- ・SDG s



ご清聴
ありがとうございました！

